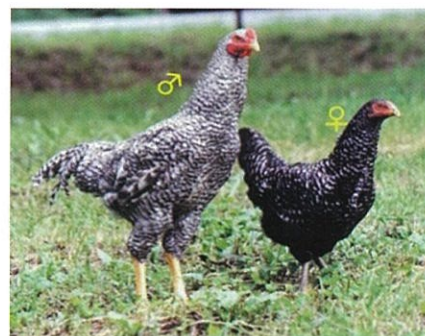


青森シャモロック 商店街

青森シャモロックとは

「青森シャモロック」は、父親が「横斑シャモ」、母親が肉用タイプの「速羽性横斑プリマスロック」の交配種です。羽毛の色は白と黒のいわゆる「ごまどり」で外観的にも美しい鶏です。

味が濃厚で「だし」が出ることや肉のきめが細かくしまっており、肉の色が地鶏特有の赤色をしているのが特徴で、各方面で「美味しい地鶏」として評価を高めております。料理素材としてはとりなべ、水炊き、すき焼き、煮しめなどの和風料理に最適です。もちろん、フライドチキン、ローストチキンなどの洋風料理でも美味しい料理ができます。この他、焼き鳥やスモークチキン、ウィンナーなどの加工品も人気があります。 畜産研究所



加工食品



青森シャモロック ザ・プレミアム#6 鍋セット

「青森シャモロック ザ・プレミアム#6」は、選抜したオスに旨味成分や機能性成分を高める特別飼料を100日目から30日間与えた（通常は100日齢で出荷）、地鶏ファンのためのプレミアムな地鶏です。お肉のうまさもさることながら、地元でとれる根菜の味を引き立てる旨味たっぷりの出汁となっております。添加物も一切使用していません。

価格：10,000円（税抜）
 内容量：もも肉・むね肉 各300g、塩こうじ50g×2本、
 ねぎ・ごぼう・にんじん 各200g、出汁 300ml×2本

DATA

問い合わせ先：六戸ブランド研究会（六戸町産業課内）
 TEL：0176-55-4495 Email：sangyo@town.rokunohe.aomori.jp



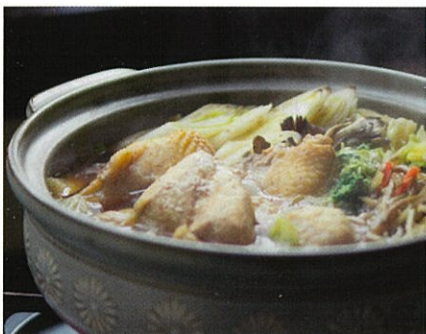
しゃぶしゃぶと水炊きセット

しゃぶしゃぶ用ムネ肉スライスとモモ・ムネのカット肉、それにつみれを加えた万能3点セット。その日の調理に合わせてご自由にお使いいただけます。

価格：3,241円（税抜）
 内容量：しゃぶしゃぶ用ムネ肉スライス 200g、水炊き用ぶつ切り
 300g、つみれ 200g、ガラスープ 400g

DATA

販売元：有限会社 大鱈振興
 所在地：〒038-0212 大字蔵館字湯ノ沢4-3
 URL：http://www.o-wani-shinkou.jp/
 主な販売店：当社HP



青森シャモロック地鶏鍋セット

青森シャモロックの旨味たっぷりの鍋セット。正肉スライス、つみれ、骨付きぶつ切り入り。贈り物にも喜ばれる一品。

価格：4,800円（税抜）
 内容量：正肉スライス 100g×4、つみれ 100g×2、骨付きぶつ切り
 300g×1、人参・ごぼう 各150g、濃縮スープ 100ml×2

DATA

販売元：株式会社 グローバルフィールド
 所在地：〒039-1512 青森県三戸郡五戸町字西ノ沢6-1
 TEL：0178-61-1511 FAX：0178-61-1512

あおもり和牛 商店街

あおもり和牛とは

倉石牛、三戸・田子牛、十和田湖和牛などに代表される「あおもり和牛」は、本県の豊かな自然環境に育まれた黒毛和牛の高級ブランド牛肉です。

畜産研究所（和牛改良技術部）では、この「あおもり和牛」の生産に欠かせない優良種雄牛（交配用オス牛）の研究を行っています。

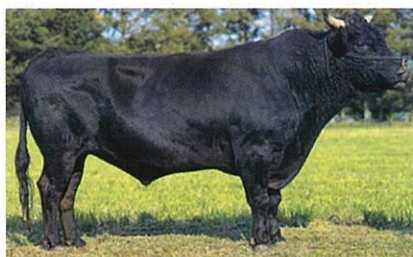
和牛改良技術部は、秀峰岩木山（津軽富士）の麓にあり、周囲にりんご畑が広がる風光明媚な牧場です。

ここで管理されている種雄牛を父にもつ子牛が県内で肥育され、極上の「あおもり和牛」として食卓のぼります。

畜産研究所



代表的な種雄牛の紹介



「第1花園」(だいいちはなくに) H5年5月生まれ

青森県を代表する種雄牛です。その肥育牛は全国規模のコンクールで何度も優勝し、あおもり和牛の名声を大いに高めました。

本牛は2009年にこの世を去りましたが、凍結精液は多く残っており、今も子牛の生産が続いています。

和牛界では東の横綱と称えられ、現在も日本を代表する名牛として活躍しています。



「光茂」(みつげ) H19年8月生まれ

これまで生産された種雄牛の中で、枝肉重量（牛肉をより多く作り出す能力）に優れ、県内に多く飼育されている「第1花園」の娘牛との相性も優れています。

平成28年度あおもり和牛枝肉共進会（牛肉コンクール）では、肥育牛が最優秀賞を受賞しました。

本牛は体積が豊かで温厚な性質なため、飼いやすいのも特徴的です。



「平安平」(ひらやすひら) H21年5月生まれ

2014年に基幹種雄牛に指定され、2017年から肥育牛が出荷され始めた種雄牛です。

「第1花園」と同時期に西の横綱として活躍していた宮崎県の名牛「安平」を父として誕生し、脂肪交雑（霜降り牛肉を作り出す能力）は青森県種雄牛の中で歴代No.1です。

発育の良さや仕上がりの早さにも優れています。



「春待白清」(はるまちしらきよ) H24年11月生まれ

2018年に基幹種雄牛に指定され、岐阜県の名牛「白清85の3」を父として誕生しました。「第1花園」の娘牛への相性の良さを意識してつくられた種雄牛ですが、その他の娘牛でも十分に能力が発揮できます。

肥育牛の出荷は2021年からであり、安定した脂肪交雑能力と、脂肪の質（口だけや旨みに影響）の良さからブランド牛肉の生産に大きく貢献できるものと期待しています。